

小規模住居型児童養育事業『ファミリーホーム・ともしび』のご紹介

三浦半島労福協は、これまで『鎌倉児童ホーム』、『葉山幸保愛児園』、2つの児童養護施設とお付き合いをしてきましたが、日頃からお付き合いをしていました『鎌倉児童ホーム』の職員が独立して、横須賀市秋谷に養育事業施設「ファミリーホーム ともしび」を立ち上げたということを聞き、今年の3月に施設を訪問するなどしてコミュニケーションを深めてきました。

「ファミリーホーム」は厚労省が定めた第二種社会福祉事業で「グループホーム」と「里親制度」の中間的な施設であり、子どもの数は5～6名であることを知りました。

(詳細は[ファミリーホームともしび | Yokosuka-shi Kanagawa | Facebook](#)をご覧ください。)

国は1,000施設をめざしているものの、現在全国450ヶ所、神奈川県でも横浜市・川崎市などに数か所、三浦半島内においては横須賀市に3ヶ所しかない状況であり、その知名度から「グループホーム」のような様々な支援が届かないことも知りました。

以上のことから、三浦半島労福協・地域連合として、横須賀市であること、小規模施設であることなどから、3つ目の児童施設の支援の可能性を考えて検討し、7月9日、三浦半島統一メーデーを中心に実施した「タオル一本運動」で集まったタオルを寄贈したところです。

今後も『鎌倉児童ホーム』、『葉山幸保愛児園』とともに、可能な支援を検討していきたいと思います。

